



表紙
小林英樹
《予感》
130.3cm×193.9cm 1983年

表紙絵解説

ミクストミュージズには年代順不同、かつ様々な表現を掲載させていただいてきました。ありがとうございます。今回のものは、120号サイズ（130.3cm×193.9cm）の油絵で、1983年、大阪現代美術センターで発表した作品のひとつです。『DEEDS of COLORS(色彩による行為)』と銘打ったシリーズの第一回目の展示会出品作です。真っ白なキャンヴァスと向き合い、気持ちを集中させ、パレットに展色した絵具をキャンヴァスに置いていくのです。当時のわたしの頭のなかには漠とした混沌とした世界が広がっていたと思います。

赤系の色鮮やかな色彩が渦巻き、様々な要素が飛び交っているなかに浮遊している自分、自分を取り巻く世界、それがなんとなくキャンヴァス上に出現してくれたらいいな、という気持ちで制作を続けました。もちろん、制作当初はイメージもなく、下書きもなく、成り行きで展開していく行為のなかで少しずつ何かが生まれていく、そんな感じでした。様々なものがひしめき合う混沌とした世界、それは元気よく生命力にあふれているもの、多分、わたしはそういった世界を無意識のうちに追っていたのだと思います。制作期間は10日くらい、果たして作品としての完成度はどうであったのか、わたしの判断は定かではなく、ほとんど手直しもせずに「完成」したと思います。この作品展で『DEEDS of COLORS』というわたしの立脚点、制作コンセプトは確立し、大阪から札幌へと展開していきました。

小林英樹